

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

海外派遣の打診には 「ハイ」か「YES」か「喜んで」



札幌市総務局国際部交流課世界冬の都市市長会担当係長 佐々木 裕一

シンガポール事務所では、何物にも代え難い貴重な経験を積めました。例えば、日本の自治体の ASEAN 諸国における活動の支援では、首長や議員などの要人アテンドや、その背後にあるロジスティクス計画の立案について実践的に学ぶことができました。また、日本の省庁と所管国が合同で実施するセミナーの運営支援にあたり、所管国担当機関のカウンターパートとの調整を通じて、仕事へのスタンスの違いによる外国との折衝の難しさを（思い）知りました。さらに、海外事務所の責務の一つとして広報がありますが、海外現場における日本の自治体による取り組みの現状や所管国の動向をいち早く自治体関係者に届ける必要性を再認識し、上司の助言や同僚の協力を得て、事務所の Facebook を立ち上げました。こうした業務を通じた国内外の官庁等関係機関との人脈は今も私の貴重な財産となっています。一方、海外に居住するメリットを活用し、現地のニュースを英語で視聴して語学力の向上を図りました。また、仕事の合間を縫って近隣諸国を探訪し、各国の独自文化や世界遺産に触れることで、（もともと少なかった）教養のかん養に努めました。これは仕事上でも、年齢を重ねるにつれて思いのほか大切になってくるものだと思っています。

現在、世界冬の都市市長会という国際会議の事務局を担当していますが、他国との調整や要人対応などでシンガポール事務所時代の経験が大いに役立っています。国際部業務の庁内における情報発信でも、広報ターゲットの違いこそあれ、土台となる考え方はその実施プロセスを円滑化してくれました。2年間在住したシンガポールや ASEAN 諸国についての関心は今なお高く、常にそのトレンドを注視することで、国際業務に関する次の最適な一手につなげることができるのではないかと考えています。

30代後半に差し掛かり、そろそろ限界かと思っていた自分にとって、海外派遣経験は限界を超えるターニン

グポイントになったと思います。チャップリンの名言に、「下を向いていたら、虹を見つけることは出来ないよ。」というのがありますが、クレアの海外派遣は私の仕事人生の視座を高めてくれた千載一遇の好機でした。もちろん海外生活には幾多の困難も付き物でしたが、上司や同僚と過ごした思い出はこの先も大切な宝物です。



北海道 ASEAN 事務所開所式（シンガポール）



世界冬の都市市長会議（中国・瀋陽市）

プロフィール

- 所属：札幌市総務局国際部交流課世界冬の都市市長会担当係長
- 業務内容：国際会議事務局、姉妹・友好都市交流、国際協力業務（フェアトレードなど）
- クレア時代の所属：2014年4月～2015年3月 東京本部 JET プログラム事業部調整課
2015年4月～2017年3月 シンガポール事務所所長補佐